

EBPMにおける公文書管理の必要性 ～エビデンス×公文書×熊本地震～



行政の施策の記録、すなわち「公文書」は、政策立案に不可欠なエビデンス(客観的な根拠)の宝庫である
本講演会では、熊本地震から10年、令和9年度末に公文書館開館を控えた今、公文書の整理・活用の重要性について、神戸市歴史公文書館の先行事例から皆さんとともに考えていきます



※EBPM(エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング:客観的な根拠に基づく政策形成)

開催
日時

令和8年(2026年)

8月4日(火)

参加
無料

14:30-16:30[14:00開場]

会場

熊本市国際交流会館

6・7階大ホール

(熊本市中央区花畑町4-18)

※公共交通機関をご利用下さい。

申込

定員 200名(先着順)

7/6(月)~7/31(金)

「ひごまるコール」まで

▶電話 096-334-1500

▶Web申込 <https://higomaru-call.jp/event>

(Web申込)



その他

▶本市職員による研究報告等もあります。
▶本講演会は都市計画CPDの認定プログラムです。

主催
問合せ



【講師】

神戸市行財政局 歴史公文書館 係長
/大阪公立大学特任准教授

村上 しほり 氏

(略歴等)

神戸大学大学院人間発達環境学研究科修了、
博士(学術)。専門は都市史・建築史。

神戸市職員として令和8年6月開設の神戸市歴史公文書館の業務に携わるとともに、大阪公立大学特任准教授として教育・研究活動に従事。

熊本市EBPM推進センター

▶熊本市中央区花畑町9-24 住友生命熊本ビル5F

▶電話:096-328-2784

▶メール: ebpmsuishin@city.kumamoto.lg.jp